

令和6年度 学校図書館活用計画・評価シート

白地部分：計画策定時記入（年度当初）

水色部分：評価時記入（年度末）

足立区立 入谷南 中学校 校長 遠藤 映悟

1 学校教育目標

自ら学ぶ人 豊かな心を持つ人 すこやかに生きる人

2 現状の学校図書館の課題

- ① 図書館が狭く、1クラスが学習するスペースの確保が難しい。
- ② 授業で活用する時間の確保が難しい。ICTと関連した学習を工夫したい。
- ③ 図書館に行かない、本を借りたことがない生徒が多い。

3 今年度の学校図書館の重点目標

- ① 学校図書館を活用し、読書に親しむ機会を設けて豊かな心を持つ生徒を育てる。
- ② 学校図書館の資料を活用し、主体的に学ぶ生徒を育てる。
- ③ 学校図書館を活用し、豊かな語彙、正しい言葉遣いを身に付け、自分を表現できる生徒を育てる。
- ④ 学校図書館を利用し、得た情報を活用して自らの課題を解決し、すこやかに生きる生徒を育てる。

4 今年度の重点的な取組

- ① 図書の借り方や扱い方等、正しく利用する態度を育て、図書委員会の呼びかけ等で図書館にさらに興味を持ち利用する。
- ② 小学校からの読書習慣をさらに向上させ、様々な分野の図書に親しめる読書姿勢を育み、自分の生き方等に及ぼす効用について理解する。
- ③ 行事等の課題について学校図書を活用して調べ、インターネットの情報と学校図書の情報を整理していくことで情報活用能力の育成を図る。
- ④ 学校図書館での学習活動、調べる学習を通して、言語能力の向上を図るとともに、情報の信頼性の確かめ方を理解する。
- ⑤ 学校図書を目的に応じて主体的に利用し、視野を広げる。
- ⑥ ビブリオバトルを実施する。

5 教科等における年間指導計画（対象学年は○数字で記載）

教科	内容（学校図書館の図書や資料を活用して取り組む単元等）
国語	①根拠を示して説明しよう ②メディアの特徴を生かして情報を集めよう ③情報を読み取って文章を書こう
社会	①人々の生活と環境 ②日本の地域的特色 ③国際（SDGs等について）
音楽	①日本の歌 ②世界の諸民族の音楽 ③日本の伝統音楽
理科	①大地の変化 ②天気とその変化 ③地球と宇宙
家庭科	① 食品に含まれる栄養素 ①日本の食文化と和食の調理 ②住まいと気候風土の関わり
保健体育	① 調和のとれた生活 ②自然災害による危険

実践の評価

国語①5月 ②6, 7月 ③11月実施予定
 社会①5月 ②7月 ③12月～1月 実施予定
 音楽①11月 ②11月 ③12月 実施予定
 理科①1月 ②11月 ③12月実施予定
 家庭科①10～12月実施予定 ②12月実施予定
 保健体育①6・7月実施 ②9～12月実施予定

6 図書館運営計画

(1) 日常的な取り組み

- ① 読書時間の確保（朝読書 行事時期以外） ② 読む本を図書館から借りる

(2) 主な行事等の取り組み

- ① 図書館オリエンテーションの実施や図書委員会活動等
② 学校司書との積極的な連携、協働に取り組む

(3) 図書委員会などの取り組み

- ① 読書カードの記入推進活動 ② 本紹介の実施 ③ 図書館 PR 活動

(4) 環境整備の取り組み

- ① 生徒のさまざまな興味関心に応える書籍を揃え、さらに多くの生徒が利用したいと思える図書館を運営する。
② 生徒が読書に興味関心を持つために図書委員を指導し、クラスで〈本紹介〉を実施するなど、図書館利用を活性化するにはどうしたらよいか検討し実行する。
③ 総合的な学習の時間に活用でき、キャリア教育に応えるための職業・上級学校・資格取得のための蔵書を揃え、情報提供とともに本の貸出を受ける。

(5) 司書・外部との連携

- ① 紛失、破損への注意喚起をし、それらが無くなるよう取り組む。
② 「調べる学習」など、授業に必要な資料について積極的に学校司書への相談や情報交換を行う。
③ 生徒作品を地域図書館に掲示するなど地域図書館と連携し、読書への興味関心を地域とともに高める。
④ 地域図書館との「学習用図書」の配送サービスの活用を検討する。

実践の評価

7	学校図書館利活用に関する成果目標	達成基準	達成状況
①	探究的な学習を ICT と本、新聞など、複数の情報を活用して展開させる。	ICT と図書を併用した調べ学習を実施した回数：年 4 回	
②	読書タイムを確保し、生徒一人が年間 10 冊以上の本を読むようにさせる。	生徒の年間平均貸出冊数：15 冊	
③	年間の学習指導内容に合わせ、図書館を活用した学習を展開する。	授業で図書や資料を活用した教員の割合：50%	

学校図書館全体に関する自己評価